

校 報

# ましみず

1月号  
掛合小学校  
平成21年1月発行

年頭にあたって

校長 富田真樹

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成二十一年の元旦は、大晦日からの雪が積もった中で迎えました。今は、この元日の雪が、一月中旬からの大雪の前触れであったかとも思われます。日本及び世界各国の経済は、これまでにならぬ厳しい状況にあると言われてはいますが、それぞれのご家庭におかれましては、清らかな心で新しい年をお迎えになったことと思います。今年一年が、皆様にとっても、また、掛合小学校にとっても良い年でありますように祈るばかりです。

第三学期の始業式は、底冷えのする体育館で行いました。この一年の初めに行う始業式でいつも感じることなのですが、子どもたちの表情や態度からは、「新しい年になったのだから、がんばるぞ。」という意思が伝わってきます。一月八日の式でも、そのような気をひしひしと感じました。式では、この三学期は、植物が春になって一斉に花を開くために、寒さの中でゆっくりとではあるが、確実にその準備をしているように、「じっくりと、ひとつひとつのことを丁寧に積み上げて、力をためていこう。」という趣旨の話をしました。一年間のまとめの学期として、一人ひとりの児童が、着実に力をつけていくことを願っています。

## 大雪にもめげず

一月九日から降り始めた雪は、昭和五十八年以来とも、三八豪雪以来とも言われる大変な大雪になりました。このような大雪にもかかわらず、臨時休校に至ることもなく、この試練ともいえる状況を乗り越えられたのは、各方面の方々のご尽力、子どもたちのことを一番に考えてくださる多くの方々のお蔭であることは申すまでもありません。



写真は、1月13日16時55分撮影の中庭の様子。この日は、1日中降り続けました。朝から新雪が30cmぐらい積りました。中庭の最大積雪は98cmでした。

### ☆始業の遅れなし

スクールバスのルートの変更、臨時バス停の設定、路線の優先的な除雪、運転手さんの巧みな運行技術などのお蔭で、最も学校到着が遅れた日でも午前八時四十分には、全員が学校に到着していました。もちろん、徒歩通学の児童もご家族や地域の方の支えがあって、みんながんばって歩きました。

波多線、入間線、松笠線では、ルートの変更に伴って、一部のバス停の変更がありました。大向、平岩団地、十日市、大志戸、奥明、西谷、松尾の通学班は、国道沿いの歩道が車道から除雪された雪で歩けない状態が続きました。バス停の変更や歩道通行不能については、保護者の方の連携による送迎がありました。

子どもたちの登下校路の確保などでお世話になった方々をすべてこの紙面に載せることはできませんが、分かっている範囲で紹介し、お礼に代えたいと思います。

名原 知様 泉 商店様 松村朝人様  
永瀬博之様 入間郵便局様

スクールバスの乗降待合場所として、所有建造物等の提供など、便宜を図ってくださいました。名原様には引き続きお世話になっています。

茂富 勉様 藤原 博様 景山和幸様  
通学路の除雪、徒歩通学児童の引率など安全に配慮したボランティアをいただきました。藤原PTA会長様には、一月十二日に総合センターに赴かれ、スクールバスの運行などについていろいろとご配慮をいただくなど種々お世話になりました。

また、学校周辺の道路を車で通行なさっている方々にも、いろいろとご配慮をいただいています。



1月15日(木)午前11時の体育館前の積雪。

☆たくましい子どもたち  
 スクールバス帰りの便(波多線・入間線十四日)では、大型トレーラーが国道を塞いで渋滞し、最大延着が二時間にもなりました。バスの中で子どもたちは宿題をし始め、バス停に着くまでにみんなが宿題を終えたということもありました。

家族の方に送迎してもらった徒歩通学の子もまたは、玄関から昇降口という送迎をもらったわけではありません。掛合体育館やコアなどが送迎の乗降場所になり、そこと学校の間はきつちりと歩きました。大野モーターズさんから歩いた、平岩住宅の子もたちもいます。

雪の中で一段とたくましさをつけた子どもたちでした。

インフルエンザには・・・

寒波が和らいで、雪解けもかなり進んだ一月二十日ごろから、子どもたちの中にインフルエンザ様の風邪の症状がみられるようになりました。欠席数も増え始め、週が明けた二十六日には、二年生と三年生がそれぞれ九名欠席し、医療機関でインフルエンザであると言われた連絡も増えてきました。清水校医先生のご助言もあり、火曜日から木曜日までの三日間を第二学年と第三学年とを学年・学級閉鎖としました。

雪に対しては本当によく耐えて頑張った子どもたちも、猛威を振るうインフルエンザにはかないませんでした。もちろん、全員がということではありません。十度以下を示す廊下や体育館で、半袖シャツで遊んでいる子もいます。

この度の、大雪とインフルエンザというダブルパンチのために、予定されていた行事等が延期になりました。

学習公開・PTA研修会は二月十七日に、五・六年生参加のスキー教室は二月十日に、それぞれ延期しました。また、餅つき体験教室(五年生)、夢の子園訪問交流活動(四年生)もインフルエンザ感染拡大の心配から延期しました。

凛とした清冽な空気の中で

校内書き初め会 一月十四日・十五日

外は大雪でした。体育館では、ストーブを六台たいているにもかかわらず、なかなか暖かくなりません。しかし、その寒さを吹き飛ばすかのような気迫のこもった、熱心に取り組んだ書き初め会でした。

指導講師として中学年には福場輝夫先生、高学年には積泰澄先生をお招きしました。お二人の先生には、二学期末にもおいでいただき、今回の書き初め会に向けて教わりました。



写真上右 福場輝夫先生  
写真上左 積泰澄先生



広い体育館のアリーナにいっぱい広がって書きました。右：高学年 上：中学年



### 野菜生産者の方との 交流給食

掛合町内で野菜栽培をし、その野菜を掛合学校給食センターへも提供されている生産者の皆さんをお招きし、一緒に給食を食べたり、お話を聞いたりする交流給食を一月二十七日に行いました。

この日来てくださったのは、白築康正様(郡)、佐藤忠正様(郡)、福島キミエ様(佐中)、安食喜代子様(矢谷)、永田雅彦(菅原)の五名の方。ランチルームに拍手でお迎えし、色別の縦割り班の中に入って共に給食を食べていただきました。後半、五名の方に、野菜の栽培にまつわることや食べ物のお話を自己紹介と併せてしていただきました。



最後には、五年生がお礼の気持ちこめて準備した色紙をお渡しし、四年生は全員で歌を歌って感謝の気持ちを表しました。

五名の皆さんも、「自分たちが作っている野菜を、どのように食べてくれているのか、様子がよく分かってとても良かった。」と大変喜んでくださいました。ちなみに、当日の献立では豚汁の具として入っていたサトイモ、ダイコン、ニンジンが掛合で栽培された野菜でした。

友塚栄養士さんのコーディネートで、今回の交流会が実現しました。



ちなみに、一月二十四日から本日まで「全国学校給食週間」です。

### 三刀屋高校掛合分校 との交流

これまでも「ほほえみタイム」

(金曜日朝の読み聞かせの時間)に、掛合分校の生徒さんが何回か来てくれました。今回は、選択教科「フードデザイン」の学習の一環として行われました。本校児童を対象にした「野菜好き嫌いアンケート」の結果、嫌いな野菜ベスト1になった「なすび」のいろいろな料理を作って、それを試食してもらおうという今回の来校。うれしい試食ができたのは、四年生の「なすび」が苦手だという子どもたち。給食後にもかかわらず、「おいしい、おいしい。」と全部食べました。



### こころばかばか週間

一月二十日に予定されていた学習公開日に合わせて、掛合小学校人権週間として取り組みました。「人権について考える活動を全校で取り組み、人権意識を高め、人を大切にしようとする態度を養い、温かい雰囲気のある学校をつくる。」ことをねらいとして行いました。

延期になった学習公開では、人権・同和教育の視点を明確にした学習を公開し、また、PTA研修会の人権に関する講演会がもたれる裏番組として、児童もビデオ視聴をすることになっていました。このセツトは二月十七日へ、そのままスライドします。

「こころばかばかカード」の取り組みは計画通り行いました。お家の方からのメッセージが書いてあるハート形のカードは全学年分が、今、廊下の掲示板上に貼られています。二月まで続けます。

ご協力ありとうございました。

人権パネルの展示も公開日に行いますので、是非ご覧ください。



# 栄光の跡 第17回 島根県版画展

このコンクールには3年生以上が出品しました。

(敬称 略)

優秀賞	3年	永瀬 開斗							
優良賞	3年	飯塚 成樹	石飛 公基	岡田 和恵	奥井 駿太	金山 彰人			
		佐藤 冴江	田部 佳	井上弥生子					
	4年	飯塚 柁樹	板垣 志歩	小畑舞佑子	勝部 学美	願永 大地			
		白菊帆乃佳	都間 佳音	永瀬七夏海	藤原 弘明	山毛 翔太			
	5年	陶山 拓郎	田部 亮						
	6年	岩本 和稀	小川 桃果	落部 翔伍	小畑 宏輔	堀江 謙公			
		松村由佳子							
佳作		88名							

## 新しい学習指導要領に基づく教育課程

平成二十年三月に文部科学省は、学校教育法施行規則を改定し、新しい学習指導要領を示しました。この新学習指導要領の完全実施は、平成二十三年度からになります。前回の改定では、「完全週五日制の導入」「生きる力を育むこと」などが特徴的な内容でした。学習内容が一部の教科等において軽減されました。このことが、学力の低下を招いているのではないかという指摘があり、直後に文科省は、改善・補充通知を出すなど、議論が渦巻いたものでした。

今回の学習指導要領の改定では、『生きる力』は、これまで、これからも大切。」とする方針のもと、前回の改定で不十分であった点を吟味し、改正、補完を施し、これまでに示された学習指導要領中では最も体系的で完成度の高い構成と内容になっています。

### 新学習指導要領の主な改善事項

- ◎ 言語の力をはぐくむ
- ◎ 理数の力をはぐくむ
- ◎ 伝統や文化に関する教育の充実
- ◎ 体験活動の充実
- ◎ 外国語教育の充実
- ◎ 道徳教育の充実
- ◎ 新しい時代に対応した教育の充実

平成二十一年度から二カ年かけて「移行措置」を行います。詳しくは、来年度にお知らせすることになります。詳しくは、「全学年で週一コマの時数増」「外国語活動を総合的な学習の時間から分離させて、第五、六学年で実施」「算数の時間が全学年で新課程と同じ授業時数（第一学年は週四コマ、第二～六学年は週五コマ）」などです。

上述の教育課程の改定と移行措置の開始を新年度から行うにあたり、現在、本校においては、平成二十一年度教育課程の編成作業を進めています。

この教育課程編成の基礎部分にあたるのが、年間の行事等の配置です。今年度は開校初年度ということもあり、PTA総会と日と同じにして行う年度初めの学習公開と学級懇談会を四月末に行いました。また、例年四月末に実施していた第六学年の修学旅行を五月に行いました。しかし、円滑に開校できたこともあり、これらの行事を統合前の各小学校で実施していた時期に戻すことを考えています。家庭訪問も賛否両論あるかと思いますが、来年度は夏季休業中に行う考えです。（授業時数を確保するためというのが大きな理由です。）

運動会のようにPTAとの協議検討で、来年度以降も九月の最終日曜日と定めたものは動かしません。今後の掛合小学校の教育課程を盤石のものにしていくために、敢えて来年度は変えてみるという視点をもちながら、編成をしています。

学校からの情報提供が十分ではありませんが、ご意見やご質問をいただくことにより、内容も充実しますので、どしどしお寄せください。

お断り（寄贈などの紹介は、次号にいたします）